

「慰霊の日」全戦没者追悼法要

6月23日(火)は沖縄県の「慰霊の日」です。各地で「慰霊の日」全戦没者追悼法要をお勤めしました。

今年は戦後81年を迎えます。沖縄別院では午前10時から本堂で映画『ふじ学徒隊』を上映し、午前11時から法要「読経作法(阿弥陀経)」を修行しました。

別院・久米島布教所では正午、参拝者と共に非戦平和の思いを胸に「平和の鐘」をつきました。別院では平和の鐘の後、糸満市摩文仁の平和祈念公園で行われている追悼式のテレビ中継を放映しました。布教所では平和の鐘の後、法要をし、その後、映画『ドキュメンタリー沖縄戦』の上映会を行いました。



また、同日午後には、浦添市仲西自治会、同屋富祖自治会、同安波茶自治会の追悼法要へ出向し、各慰霊碑前で



勤めさせていたいただきました。どの会場も、強い日差しにもかかわらず多くの方が参拝されていました。そして「追悼法要を継続し、次世代に戦争の悲惨さを伝えていかなければならない」などの声が聞かれました。



ハイサイ!!
沖縄へようこそ

6月24日(水)に熊本教区山鹿組の皆さんが、沖縄別院に参拝されました。

お念仏の声があふれる中、沖縄の歴史・別院の沿革など学び多き1日となったことを喜んでおられました。

沖縄別院では今後も皆さんのご参拝をお待ちしております。

おきなわ

《2026夏・第131号》

浄土真宗本願寺派
発行 沖縄県宗務事務所
発行人 久留島智祐
〒900-0005
沖縄県那覇市天久2-18-2
電話 (098) 860-7009
ファックス (098) 860-7469
mail ameku2182@yahoo.co.jp

光妙寺と蓮生寺の非法人寺院承認

伊波住職、仲里住職に辞令伝達式を執行

2026(令和8)年4月22日付にて非法人寺院「光妙寺」、同年5月28日付にて非法人寺院「蓮生寺」が宗派の承認を得て設立されました。

当該寺院設立にあたり、久留島智祐

沖縄県宗務事務所長から光妙寺の伊波光原住職に、蓮生寺の仲里なご

さ住職に、それぞれ辞令伝達式を執り行いました。久留島所長は「浄土真宗のみ教えが多くの方に弘まるよう布教伝道活動に励んでいただき

たい」と述べました。

沖縄県宗務特別区は5月28日現在、一般寺院15か寺、非法人寺院4か寺、布教所3か所で、拠点が計22となりました。

◆非法人寺院 光妙寺

〒904-2245 沖縄県うるま市字赤道438番地1

◆非法人寺院 蓮生寺

〒905-9412 沖縄県国頭郡今帰仁村字湧川1202番地1

光妙寺

内陣



辞令伝達式(別院にて。左が伊波住職)



非法人寺院 辞令伝達

蓮生寺

内陣



辞令伝達式(蓮生寺にて。中央が仲里住職)



外観



外観



松原総務(右から2番目) 波佐谷部長(最右手)

6月4日(水)午後6時、沖縄別院本堂で「宗務の中期計画及び財政改革に関する説明会」を開催しました。宗派から松原功人総務

「宗務の中期計画及び財政改革に関する説明会」を開催



「宗務の中期計画」スローガンのロゴマーク

はまはらしんご 波佐谷真悟 教化部長が 出向しまし た。特区か らは基本会 場である沖 縄別院に10 名が、オン ラインで3



別院本堂に集まった特区の皆さん。宗派からの説明後、活発な質疑が行われた

名が出席しました。

最初に久留島智祐事務所長が挨拶し、松原総務の挨拶について、波佐谷部長が中期計画と財政改革について説明しました。

中期計画は本年度から5会計年度にわたって推進し、スローガンを「ともにお念仏申す身となる」とし、重点施策として「住職総参拝の実施」を掲げています。また注力施策は「研修の充実」「研究の推進」「教化活動の推進」であり、

第1回 御同朋の社会をめざす運動 特区委員会、研修会を開催

第5期3年目がスタート 中川師の「なぜ葬儀を勤めるのか」を受講。オンライン参加も。

実践運動特区委員会

4月22日(水)午後6時25分から沖縄別院多目的室で、2026(令和8)年度第1回「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)特区委員会を開催しました。任期満了に伴う特区委員会委員長・副委員長・特区委員会代表者の選出を行いました。

沖縄特区では実践目標に、①貧困の克服に向けて ②寺院の活性化をめざして ③「非戦平和」をはじめとする社会的課題の取り組み、以上3点を掲げています。第5期重点プロジェクト推進期間(2024年度から4年間)の2年目が終了したため、各実践目標に

おける単年度および中間報告について協議し、今後の取り組みについて意見交換を行いました。

実践運動推進研修会

5月16日(土)午後7時30分からは沖縄別院本堂において、2026(令和8)年度第1回「実践運動推進研修会」を開催しました。講師に中川一晃師(本願寺派布教使、福岡教区御笠組願應寺住職)をお迎えし、「なぜ葬儀を勤めるのか」現代社会における仏教の意義を考える」をテーマにお話しいただきました。オンラインでの参加もありました。

中川師は、「私たちはなぜ葬儀を勤めるのか。誰のために、何の



挨拶する池上智副委員長。写真下部はオンライン受講者の画面

えていくことの大切さについて話されました。

また、現代社会における葬儀を取り巻く状況や変化を踏まえながら、葬儀のもつ意味や役割について、分かりやすくご教示いただきました。

仏教者として葬儀に向き合う意義や使命についてあらためて見つめ直す機縁となり、多くの参加者の有意義な研修会となりました。

鮮やかな琉装で 仏前結婚式

読谷村長浜で2月28日(土)、県出身で米国育ちのガリバーさんに、米国出身ブラウン・ブリ



玉城家お仏壇のまえて、おごそかに挙式

トニーさんのパートナーシップ結婚式が仏前で営まれました。

そこにあさんの母の実家の玉城家には沖縄の親族ら35人が参列し、法谷寺の角田哲哉住職の司婚によ

り、2人は仏前で「誓いの言葉」を述べ、指輪の交換、念珠の授与を行い、全員で焼香しました。ブリトニーさんの米国の家族とはウェブ中継をつなぎました。

鮮やかな黄色の琉装に身を包んだそにあさんは「琉装を着る夢が叶った。育ったのは米国だけれど、ここが地元です」。ブリトニーさんは「玉城家の一員になれて本当に良かった」と語りました。

角田住職は「阿弥陀さまの慈悲の光に包まれ、共に人生を歩んでください」と門出を喜んでいました。